

Grand Toit News

vol. 23
Autumn 2010

Grant News



島根県芸術文化センター
SHIMANE ARTS CENTER
石見美術館
IWAMI ART MUSEUM
いわみ芸術劇場
IWAMI ARTS THEATER

開館5周年記念展紹介

「美術でめぐる古事記の名場面」

劇場事業紹介

「芸術の秋、幕開け—舞台を彩る名演たち—」

●特集 「ますます芸術発信
Grant開館5周年に寄せて」

●「一流人、登場」 スーザン・バージュ
(コンテンポラリー・ダンス振付家)

イベントカレンダー 2010年10月～12月

Grant
開館5周年記念事業が
ぞくぞく登場!!



図1 山幸彦と豊玉姫が出会い、恋に落ちる場面
小林未醒《山幸彦》 石橋財団 石橋美術館

美術でめぐる 古事記の 名場面

古事記編さん1300年に寄せて

開館5周年記念展「神々のすがた 古事記と近代美術」について担当の真住学芸グループ課長に聞きました。

今回の展覧会は、「神々のすがた 古事記と近代美術」というタイトルですが、どういう展覧会ですか？

この展覧会でいう神々とは、日本の八百万の神様のことで、古事記にはそうした神々の物語が記されています。その古事記を中心とした神話が明治以降の日本でどのように表現されてきたかを見る展覧会です。

古事記というと、最近ブームになっていますが、石見神楽でお

なじみのスサノオのオロチ退治などが書かれたものだというくらいのことしかわからないのですが、具体的にどういうものですか？ また、なぜ古事記を展覧会で取り上げるのですか？

古事記は現存する日本最古の歴史書といわれています。古事記の序文によると、天皇の命により稗田阿礼と太安万侶によって712年に作られました。まもなく編さんから1300年を迎えます。内容はこの世の成り立ちから始まり、聖徳太子が活躍す

る推古天皇の御世まで記述され、神話や伝説、歌謡などを含みながら天皇を中心とする日本統一の由来が書かれています。一般的には、古事記全編を通して読むよりも、天の岩戸や、スサノオのオロチ退治、因幡の白ウサギなど、神話ごとに親しまれているかもしれません。その古事記の三分の一が島根県を舞台にした話なのです。オロチ退治

の舞台となる斐伊川などが有名ですが、そうしたゆかりの土地になじみ深い物語が作品化することで、美術に対して親しみをもってもらえるのではないかと考えました。

具体的にはどんな作品が出品されますか？

絵画と彫刻約90点を予定しています。日本の近代美術史上、最も鮮烈に神話の世界を描いた一人、青木繁の「大穴牟知命」これは出雲大社のご祭神大國主命の若き日の苦難の話です。また同じく青木の「黄泉比良坂」は命からがら黄泉の国から脱出するイザナギの話です。小杉未醒の「山幸彦」(図1)は山幸彦と海神の娘豊玉姫の恋が生まれる瞬間を描き、安田鞞彦は古事記を編纂する稗田阿礼と太安万侶を描きました(図2)。高さが3メートルにもなる竹内久一の巨大な木彫「神武天皇立像」もやっ

開館5周年にふさわしく力作ぞろいといった感じですね。最後にみどころをお願いします。

この展覧会は、さ

ながら古事記の名場面集です。もちろん古事記を知らなくても楽しめるよう工夫してあります。また、一步深めて古事記が描かれた社会的背景から、制作の背後に潜む作家の心情などにも想いをはせてもらえればと思います。会期中には古代史・神話研究の第一人者上田正昭先生や、昨今の古事記ブームの火付け役となった立正大学の三浦佑之先生に最新の古事記研究についてのご講演を、美術史からは神奈川県立近代美術館館長の山梨俊夫先生に歴史画の視点でご講演をいただきます。この3人の豪華講師陣による特別講演会も是非お越しいただき、神話の面白さを味わっていただければと思います。

図2 古事記を編さん中の太安万侶(右)と、稗田阿礼(左)が描かれている安田鞞彦《古事記》 愛媛県美術館



青木繁《大穴牟知命》明治38年(石橋財団石橋美術館蔵)

豪華講師陣による記念講演会
神話はこんなにも面白い！
歴史・哲学・美術様々な角度から古事記を楽しもう！

記念講演会
神話研究の大神所による講演会
講師：大神所 上田正昭
九月二十六日(日) 十四時～十五時三十分
[場所] 小ホール 予定

記念講演会
高根県立古代出雲歴史博物館館長 京都大学名誉教授
山梨俊夫 神楽・出雲歴史博物館館長
十月二日(日) 十四時～十五時三十分 [場所] 講義室

記念講演会
古事記ブームの火付け役となったベストセラー「口語訳古事記」の著者による講演会
講師：三浦佑之(立正大学教授)
十月二十四日(日) 十四時～十五時三十分 [場所] 講義室

連携展覧会 出雲で開催！
古代から現代まで日本の神々のすがたが明らかに
「神々のすがた 古代から水木しげるまで」
[会期] 平成二十二年十月八日(金)～十一月二十八日(日)
[会場] 高根県立古代出雲歴史博物館特別展示室
URL: <http://www.izm.edu.jp/>

神々のすがたの

古事記と近代美術

開館5周年記念展 I

平成二十二年 九月十七日(金) 十月七日(日)

開館時間 10時～18時三十分
(展示室の入場は18時まで)
休館日 毎週火曜日
観覧料(当日券)
一般 企画展一、〇〇〇円(八〇〇円)
大学生 企画展二、〇〇〇円(一、五〇〇円)
企画展三、〇〇〇円(二、五〇〇円)
企画展四、四〇〇円(三、〇〇〇円)
企画展五、七〇〇円(五、〇〇〇円)
企画展六、一、〇〇〇円(七、〇〇〇円)
企画展七、一、五〇〇円(一、〇〇〇円)
企画展八、二、〇〇〇円(一、五〇〇円)
企画展九、二、五〇〇円(二、〇〇〇円)
企画展十、三、〇〇〇円(二、五〇〇円)
企画展十一、三、五〇〇円(三、〇〇〇円)
企画展十二、四、〇〇〇円(三、五〇〇円)
企画展十三、四、五〇〇円(四、〇〇〇円)
企画展十四、五、〇〇〇円(四、五〇〇円)
企画展十五、五、五〇〇円(五、〇〇〇円)
企画展十六、六、〇〇〇円(五、五〇〇円)
企画展十七、六、五〇〇円(六、〇〇〇円)
企画展十八、七、〇〇〇円(六、五〇〇円)
企画展十九、七、五〇〇円(七、〇〇〇円)
企画展二十、八、〇〇〇円(七、五〇〇円)
企画展二十一、八、五〇〇円(八、〇〇〇円)
企画展二十二、九、〇〇〇円(八、五〇〇円)
企画展二十三、九、五〇〇円(九、〇〇〇円)
企画展二十四、一〇、〇〇〇円(九、五〇〇円)
企画展二十五、一〇、五〇〇円(一〇、〇〇〇円)
企画展二十六、一〇、五〇〇円(一〇、〇〇〇円)
企画展二十七、一〇、五〇〇円(一〇、〇〇〇円)
企画展二十八、一〇、五〇〇円(一〇、〇〇〇円)
企画展二十九、一〇、五〇〇円(一〇、〇〇〇円)
企画展三十、一〇、五〇〇円(一〇、〇〇〇円)

島根県立石見美術館
(島根県芸術文化センター「Grant」内)

須佐之男命の軌跡

岩戸大蛇

Grant開館5周年記念
Grantトワ神楽フェスティバル

2010年10月30日(土)・31日(日)
開場12:00/開演12:30 いわみ芸術劇場 大ホール

入場料 <各日>
1階席(指定席) 1,200円 2階席(自由席) 800円
※前売・当日同料金 ※未就学児は観覧料無料
※2階席(自由席)は演出の一部見づらい演目がございます。

出演
30日 高千穂夜神楽(国指定重要無形民俗文化財)
戸隠太々神楽(長野市指定無形民俗文化財)
石見神楽(丸茂神楽社中・今福優&道川神楽社中)
31日 海潮山王寺神楽[出雲神楽](高根県指定無形民俗文化財)
備中神楽(国指定重要無形民俗文化財)
石見神楽(種神楽保存会・松原神楽社中)

チケット発売中

「天の岩戸伝説」と「大蛇退治伝説」に焦点を当てた神楽の祭典！
石見神楽・出雲神楽の他、高千穂夜神楽、備中神楽、長野戸隠太々神楽なども集結！



photo:yohta

芸術の秋、幕開け

舞台を彩る名演たち

芸術の秋、いわみ芸術劇場ラインナップはとっっても華やか。

まずはしっかりとピアノ弾き語りはいかが？ 島根県出身・在住のシンガーソングライター浜田真理子さんがグラントワに初登場です！「情熱大陸」の特集でブームを巻き起こし、全国に熱烈なファンを持つ浜田さん。ACキャンペーンCM「国境なき医師団」のあの歌も実は浜田さんが歌っているんですよ。東京ではなく地元松江を拠点に自然体で音楽と向き合っている浜田さんの生き方は、とても現代的であり、女性を中心に共感を呼んでいます。心に深く染み入るその歌声は聴く人を優しく包み込みます。

続いて、灼熱のスペインで恋の炎が燃え上がる！キエフ・オペラ『カルメン』です。世界中で最も上演回数の多い情熱的な人気オペラ、総勢200名の引越越し公演です。旧ソ連の三大オペラ劇場として歴史的に重要な位置を占める名門ウクライナ国立歌劇場がお贈りする、豪華絢爛な歴史ドラマ！物語だけでなく、音楽も舞台の色彩感とぴったり合致して、まさに総合舞台芸術の醍醐味をたっぷり味わっていただけます！

カバーアルバム『No Reason 2〜もっとオトコゴコロ〜』を引っ提げてやって来るのは、大人の

歌声、高橋真梨子さん。裕次郎からファンモンまで、男性歌手の曲13曲をカバー。女心を35年以上歌い続けてきた彼女だからこそ表現できる特別な男性曲。高橋真梨子さんの新たな魅力が発見できます。これは10月のコンサートが楽しみです！

グラントワが立地する島根県石見地方を代表する伝統芸能と言えば、ズバリ石見神楽。グラントワでも毎週日曜日に「石見の夜神楽定期公演※」を開催しており、県外からも多くの神楽ファンの皆様にお越しいただいておりますが、この度「天の岩戸伝説」と「大蛇退治伝説」に焦点を当てた一大神楽フェスティバルを開催します！石見神楽・出雲神楽の他、高千穂夜神楽、備中神楽、長野戸隠太々神楽などが全国から大集結。神楽の魅力を感じる存分お楽しみいただける2日間となるでしょう。

11月にはチャイコフスキー、ショパンの2大国際コンクールに日本人として初めて入賞した、人気・実力ともに日本を代表するピアニスト小山実稚恵さんが登場です。ショパン生誕200年の年にお贈りする名曲リサイタルをどうぞお見逃しなく！

映画館の少ない地域に映画を一「しまね映画祭」は今年で19回目を迎えます。益田会場のグラントワでも素晴らしい作品の数々を上映いたします。ぜひ、ご期待ください！

【いわみ芸術劇場 文化事業課】

※「石見の夜神楽定期公演」については、「はみだし情報」をご覧ください。



高千穂夜神楽（国指定重要無形民俗文化財）「手力雄」

「しまね文化力」創造のセンターとして

グラントワは開館して、今年で5周年を迎えました。

この間、優れた芸術や文化、地域固有の伝統芸能など、非日常の世界を展開することができ、県内外から多くのお客さまをお迎えすることができました。

また、良き指導者にも多く恵まれ、「いわみ舞台塾」の取り組みから新たな団体結成にも結びついています。

グラントワという場で新たな出会いや大きな感動が生まれています。

文化芸術の社会的な役

グラントワを観る

割、波及効果が高く指摘されている今日、グラントワが果たす役割はさらに大きなものとなってまいります。

本号でも紹介していますように、5周年を記念して特別の美術展や劇場事業を行うとともに、地域と連携して伝統文化を守り育て、新しい文化と芸術を創造する取り組みにも一層力を注ぎ、「しまね文化力」創造のセンターとして展開してまいります。

（いわみ芸術劇場館長 村川 修）

PICK UP EVENT



島根邦楽集団 結成5周年記念演奏会

10月17日(日) 13:00～
いわみ芸術劇場 大ホール

平成17年3月、流派を超えて交流の輪を広げ、全国へ邦楽振興のための発信をしていくことを目的とし、島根邦楽集団が結成されました。それは邦楽界において非常に画期的な出来事で、以来全国から常に注目され続けてきました。グラントワのフランチイズ団体として、これまでプロとの共演や、次代を担う子どもたちの育成など、邦楽振興のために精力的に活動を展開してきました。

その島根邦楽集団の結成5周年を記念し、この秋記念演奏会を開催します。広島交響楽団メンバーや、グラントワ合唱団なども共演し、新曲も披露します。5年目の集大成にぜひご期待ください。

劇・場・を・探・る



【残響可変装置】

残響とは、音源が発音を停止した後も壁や天井などの反射によって音が響いて聞こえる現象です。ホールでの適切な残響は、オーケストラの演奏と講演会では全く異なります。演奏では残響を求めますが、講演会ではスピーチの明瞭度が損なわれないことが大事です。小ホールは客席側面部分を手動でスライドさせて吸音面と反射面を入れ替えることによって適切な響きを創り出します。

「情熱大陸」の特集でブームを巻き起こした島根県在住のシンガーソングライター浜田真理子さん、期待のグラントワ公演決定。心に染み入るピアノ弾き語りを満月のこの日、ぜひライブで。

2010年9月23日(木・祝)
いわみ芸術劇場 小ホール
開場14時30分 / 開演15時
【入場料】全席指定 ※未就学児入場不可
一般 3,000円
ホール友の会 1,500円
チケット発売中

「情熱大陸」の特集でブームを巻き起こした島根県在住のシンガーソングライター浜田真理子さん、期待のグラントワ公演決定。心に染み入るピアノ弾き語りを満月のこの日、ぜひライブで。

2010年9月23日(木・祝)
いわみ芸術劇場 小ホール
開場14時30分 / 開演15時
【入場料】全席指定 ※未就学児入場不可
一般 3,000円
ホール友の会 1,500円
チケット発売中

グラントワ開館5周年記念
キエフ・オペラ
～ウクライナ国立歌劇場オペラ～ トラス・シェフチェンコ記念

カルメン
2010年10月20日(水) 開場18:00 開演18:30
いわみ芸術劇場 大ホール

【入場料】全席指定 ※未就学児入場不可
発売 15,000円 S席 13,000円
A席 11,000円 B席 8,000円

【出演】管弦楽：ウクライナ国立歌劇場管弦楽団
合唱：ウクライナ国立歌劇場合唱団
バレエ：ウクライナ国立歌劇場バレエ
指揮：ヴォロディミール・コジュハル(首席) 他

【演目】「カルメン」全3幕 G.ビゼー作曲 フランス語上演 / 日本語字幕付き

140余年の歴史を持つ劇場による総勢200名の引越公演！
世界中で最も上演回数の多い傑作オペラ！

チケット発売中

チケット発売中

グラントワ開館5周年記念
FUJITSU PRESENTS
Mariko Takahashi
Concert Vol.34 2010

Sing it!

2010年10月23日(土)
いわみ芸術劇場 大ホール 開場16:30 / 開演17:00

入場料 全席指定 ※未就学児入場不可
S席 8,000円 A席 7,500円

9月5日(日) チケット発売

デビュー25周年記念ピアノリサイタル
小山実稚恵

2010年11月21日(日)
いわみ芸術劇場 大ホール
開場13:30 / 開演14:00

【入場料】全席指定 2,800円
※未就学児入場不可

チャイコフスキー、ショパンの2大国際コンクールに日本人として初めて入賞した、人気・実力ともに日本を代表するピアニスト小山実稚恵が、ショパン生誕200年の年にお贈りするオール・ショパン名曲リサイタル！

●公演当日無料託児サービスがございます。ご希望の方は公演1週間前までにお申し込みください。TEL:0856-31-1860

●共通会員様・ホール友の会員様は各公演チケットを割引価格でご購入いただけます。

①「小山実稚恵ピアノリサイタル」…500円引き。一般発売日以降は300円引き ②「キエフ・オペラ『カルメン』」「高橋真梨子コンサート」…5%引き ③「浜田真理子ピアノ弾き語りライブ」…50%引き

ますます芸術発信

グラントワ開館5周年に寄せて

これまで数多くの建築賞を受賞し、名建築の呼び声高いグラントワ。今後ますます石見地域の文化拠点としての役割が期待されています。今回はこの施設に寄せる今後の期待や思いなど、ゆかりの深いお二人方にご寄稿いただきました。

一流人登場



スーザン・バージュ
(コンテンポラリーダンス振付家)

私が初めて神楽に出会ったのは、92年京都市にある「ヴィラ九条山」(関西日仏交流会館)で、新作の創作をとおして伝統芸術と現代アートとの関係を研究していたときでした。まず魅了されたのは、その空間の使い方です。舞はすべて制限されたスペースで行われ、方角も定められ、振付や舞は観客本位ではなく自然やその神々を敬い讃えることを考えなされています。また、舞手は空と大地、自然と人間をつないでいます。私が京都で創作したコンテンポラリーダンスの四部作「四季の移ろい」は、フランスでは劇場の舞台ではなく木々に囲まれた野外の中庭で上演しました。神楽の影響を受け創作したこの作品はその後フランスで50回以上上演されています。私の体験は極めてエキサイティングだったと言えるでしょう。グラントワは特別な創造と共有の場です。そのような文化施設とアーティストの責務、また活動の目的は、その芸術を体験する人々を慣れ親しんだ世界から未知の世界に導くことです。人間は新たな経験をおして成長するものですから。

スーザン・バージュ Susan Buirge
1940年アメリカ生まれ。フランス著作協会SACD委員(振付家初、91~94年)、フランス・ロイヨン財団・振付構成研究センターを指揮(2000~07年)。島根県益田市に移住(08年)。ヴィラ・メディチ・オー・レ・ミューラル2009受賞。芸術文化勲章最高章コマンドゥール受章(フランス文化通信省、10年)。現在、日仏合同プロジェクト「プラットフォーム」を指揮。

私たちのグラントワ

福原慎太郎(島根県芸術文化センター利用促進協議会会長)

「石見に美術館を」という益田圏域住民の熱い思いを受けてグラントワが開館し、満5周年を迎えました。今日まで多くの美術作品や舞台演劇・コンサート等、一流の文化芸術をたえず提供していただき、また市民ボランティア、スタッフをはじめ多くの関係者に支えていただいていますことに、心より敬意と感謝を申し上げます。

当協議会も、この素晴らしい施設を皆様に堪能していただけるよう、利用支援や情報提供などの取組みを推進してまいりました。中でも小中学校・公民館事業を中心とした送迎バス支援事業の活用により、毎年多数の

ご来館をいただいております。

また益田市では、2年前からグラントワ全館を使って5月に「室町文化フェスティバル」を開催し、中世の歴史や文化を発信しております。

グラントワのような機能、デザインともに優れた複合文化施設が人口7万人規模の圏域にあるのは全国的に皆無であり、私たちは文化・芸術面で、全国からうらやまれるほどの環境に恵まれています。

今後も「私たちのグラントワ」として積極的に活用し、石見発の文化を育み、発信していきましょう。

益田 ふるさとの風景

神林哲也(内藤廣建築設計事務所)

現場常駐を拝命し益田で暮らした2年間、スケッチブックを片手に休日の街角散策のきっかけをくれたのは、鳶の絡まる珈琲館でのキムラフジオ氏の故郷愛あふれる詩集との出会いです。

ふるさとは そこに あったよ。

この一行を読んだとき、様々な抱いていた益田・石見の印象の全てに合点がきました。そして、そのふるさとの風景にやがて完成する建築が自然に馴染んでくれることを心から願いました。

五周年を迎えた今、大好きな氏の一篇「益田川俯瞰 空から

のアンケート」に、ひそかに最後の一行を加えてみます。

あれが七尾山
あの光るのが益田川
そのほとりにどっしりと伏せているのが グラントワ



みさき美術館に よいて

コレクション展
「開館5周年記念
5人の学芸員が選ぶコレクションベスト5!」
2010年10月8日(金)~12月26日(日)



開館5周年を記念するコレクション展「5人の学芸員が選ぶ、コレクションベスト5!」について、担当学芸員 川西さんにききました。

Q1. いつものコレクション展とは違うんですか?

普段のコレクション展は、担当が一人で作品を選んだり解説を書いたりするのですが、今回は私はとりまとめ役で、作品の選定や解説執筆は5人全員で行います。それから普通の解説に加えて、私たちの個性を前面に出したコメントもつけますので、お楽しみに!

Q2. おすすめのポイントは?

日本画、洋画、写真、衣装など、あらゆるジャンルのものが5点×5人分、計25点集まります(会期中展示替あり)。いわゆる「名品」だけでなく、「私はこれが好き!」という視点で選びますので、マニアックな作品もあるかもしれません(笑) 自分の感性に近い学芸員は誰か...なんて考えながら見ていただくと、面白いかもしれませんよ。

Collection Pick up



ラファエル・コラン
《若い女性の肖像》
1889年

コランは、明治時代の日本人洋画家の師として知られています。アカデミズムという当時のフランス画壇の正統派のなかで成功を収めていたコランに、西洋絵画の勉強のために留学した

日本人の多くが学びました。当時のフランスでは、印象派をはじめとして、新しい美術の潮流が生み出されていましたが、コランはこうした新しい芸術を取り入れながら、穏和で繊細な画風の絵画を描きました。

フランスからの帰国後、東京美術学校西洋画科の指導者になり、近代洋画の中心的存在になる黒田清輝もコランに師事したひとりでした。本作品は、ちょうど黒田がフランスでコランに学んでいた時期に制作された作品です。屋外の光の中で緑を背景に、背中を露わにした女性が後ろを振り返ろうとしています。なめらかな白い肌の表現には、裸体画を得意としたコランの特徴がよく表れています。明治の日本の洋画家たちに、コランのこうした甘美な絵画が、大きな影響を与えたのです。

グラントワ
開館5周年記念感謝祭
きんさい
デー
2010年10月10日(日)
参加無料
中庭広場 ほか
5周年の感謝の気持ちを込めて

石見美術館 無料開放デー
10:00~18:30(入場は18:00まで)
終日、美術館を無料開放します。
企画展・コレクション展を無料でご覧いただけます。

いわみ芸術劇場
劇場を体験する
バックステージツアー
10:00~17:00
日ごろ見ることのできない、劇場の裏側をご覧ください。
※複数回あり。詳細はHP等でご覧ください。

Grand Toit Theater グラントワシアター

しまね映画祭2010 益田会場
平成22年度文化庁優秀映画鑑賞推進事業
懐かしの昭和名作シアター「木下恵介監督特集」

会場 いわみ芸術劇場 小ホール
入場料 一般:500円/会員:400円(前売・当日同料金)
(各日) ※11月13日(土)のテーマ映画「オーシャンズ」も
ご覧いただけるお得な3日共通券もございます。

11月11日(木) ※開場は各15分前
カルメン故郷に帰る
13:00~14:26 (1951年)
[出演]高峰秀子、佐野周二、笠智衆 ほか

二十四の瞳 (1954年)
15:00~17:36
[出演]高峰秀子、月丘夢路、小林トシ子 ほか

11月12日(金) ※開場は各15分前
野菊の如き君なりき
13:00~14:32 (1955年)
[出演]有田紀子、田中晋二、笠智衆 ほか

喜びも悲しみも幾歳月
15:00~17:41
[出演]高峰秀子、佐田啓二、中村賀津雄 ほか

石見美術館コレクション展

特別展 石見ゆかりの洋画
7月7日(水)~10月4日(月)
川村清雄(緑陰牧牛図)

展示室 A
コレクション展 開館5周年記念
5人の学芸員が選ぶコレクションベスト5!
10月8日(金)~12月26日(日) [前期:10月8日~11月23日、後期:11月25日~12月26日]
※「美術館にきてみよう」、「コレクションピックアップ」参照

コレクション展 昼の服・夜の服
7月21日(水)~9月5日(日)
クリストバル・バレンシアガ(チューブ型シーズ・ドレス) 1949年

展示室 B
特別展 神々が舞う 神楽衣装の美
9月8日(水)~11月8日(月)
企画展「神々のすがた」に関連して石見神楽の衣装と面を展示します。

コレクション展 クリストバル・バレンシアガ
11月11日(木)~1月30日(日)

展示室 C
特別展 並河萬里写真展 神々の座 出雲
8月27日(金)~11月15日(月)
企画展「神々のすがた」に関連して、写真家・並河萬里が撮影した「神話の国 島根」の写真讃歌です。 ※展示替あり
並河萬里(美保神社 大津連縄)島根県文化振興財団蔵

